

令和元年度

事業報告書  
決算報告書

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

# 令和元年度 事業報告書

## 1. 産業流通振興事業

- (1) 展示会・見本市の開催は、北海道内外から14件の新規催事を誘致し、全体で120件の催事を開催することができました。  
大展示場の使用日数(使用率)は、平成30年度の298日(83.0%)に対し274日(76.1%)となりました。
- (2) イベントの来場者増や相乗効果を図るため、展示会・イベント開催の相談業務や開催に関する各種申請サポートを行いました。  
また、広報誌「アクセスニュース」を毎月2,000部発行し、利用者やマスコミ、広告代理店などに送付し、利用促進を図りました。
- (3) 産業・流通の振興を目的とした異業種交流会(アクセス交流会)を2回開催し、合わせて約400人の参加がありました。
- (4) 展示会等の主催・共催。(公益目的支出計画)  
令和元年度も、公益性の高いイベントについて実行委員会事務局として参画し、企画から各種調整、実施まで一連の作業を行い、産業振興、市民生活向上に寄与するため、下記のイベントを開催しました。

### ①イベントランド北海道2019

令和元年6月14日(金)～15日(土)

道内で新たなイベントを企画・実施しようとしている企業や自治体を対象とし、イベントで使えるアトラクション、ソフトを紹介する総合展示会で道外企業の出展や初登場のアトラクションなど最新の商品を表示し数多くの商談が行われた。

### ②新発見!!マーケットほっかいどう

令和元年7月18日(木)～21日(日)

北海道と道外のような企業が出展し、そこに北海道と道外のバイヤーが来場し、商談を重視したバイヤーデーと販売を重視したユーザーデーの2部構成で新たな交流と多くのビジネスチャンスを創出したイベント。

### ③こどものまち ミニさっぽろ2019

令和元年10月5日(土)～6日(日)

会場に市役所、消防署などの公共機関や飲食店、銀行、薬局など仮想の街「ミニさっぽろ」を構成し、小学生を対象に就業体験を行うことにより働くことの楽しさや大切さ、世の中の仕組みなどを学ぶことができる職業体験イベントを開催。

### ④いきいき健康・福祉フェア2019

令和元年10月18日(金)～20日(日)

道内外から67の企業・団体・機関が出展し「誰もが輝く社会を目指して」をテーマに健康に関する情報や福祉機器を一堂に展示したほか、健康測定や衝突軽減ブレーキ、誤発進制御機能同乗体験や福祉物産展、災害対策展を新設し、生活相談コーナー、健康に関するセミナーなども実施。

### ⑤にぎわい市場さっぽろ2019

令和元年11月22日(金)～24日(日)

今回は全道から84の企業・団体が1,000品目をこえる道内各地の農水畜産品や加工品が出品され、商品の認知度を高めるとともに展示販売を行った。  
3日間の来場者数は、57,500人。

※ 事業内訳 ( ) 内は昨年度実績

(1) 大展示場使用実績

1. 使用団体数	94団体	(99団体)	
2. 催事数	120件	(129件)	
うち新規催事	14件	(14件)	
3. 使用日数	274日	(298日)	(実際の使用日数)
4. 使用率	76.1%	(83.0%)	(実際の使用日数/開館日数)

(2) 催事分類

ア. 業種別分類	1. 自動車及び自動車用品関係	35件	
	2. 建設資材・住宅機器関係	13件	
	3. 衣料品関係	11件	
	4. 機械関係	10件	
	5. 食品・食材関係	8件	
	6. 雑貨・日用品関係	6件	
	7. 家具・インテリア関係	2件	
	8. その他	35件	(総合見本市6)
	計	120件	
イ. 来場者分類	招待制	64件	
	一般	56件	(無料48、有料8)
	計	120件	
ウ. 当財団共催事業	1. イベントランド北海道2019		
	2. 新発見!!マーケットほっかいどう		
	3. こどものまち ミニさっぽろ2019		
	4. いきいき健康・福祉フェア2019		
	5. にぎわい市場さっぽろ2019		

(3) 屋外展示場使用実績

催事数 31催事 (38催事)

(4) 会議室使用実績

使用団体数 68団体 (80団体)  
延使用回数 497回 (706回)

(5) 主な催事の入場者数

1. にぎわい市場さっぽろ2019	(元. 11. 22~11. 24)	57, 500人
2. トミカ博 in SAPPORO	(2. 1. 10~ 1. 14)	50, 873人
3. 北海道技術・ビジネス交流会	(元. 11. 7~11. 8)	21, 703人
4. 2019札幌パック	(元. 9. 18~ 9. 20)	20, 071人
5. 2019ハローガス感謝祭	(元. 8. 31~ 9. 1)	20, 000人

## 2. 施設管理

当施設は、竣工以来36年が経過しているため計画的に改修工事を行っております。

当年度は、屋外展示場排水管改修工事、駐車場区画線工事、浸水対策工事、ロードヒーティング工事、中央監視制御装置更新工事、変圧器更新工事、天井採光ガラス塗装工事、大展示場壁面塗装工事、ヒートポンプ取替工事、グリーンホール照明工事等を行いました。

### 3. 理事会、評議員会の開催

#### 理事会

(平成31年4月1日 書面決議)

議題1 専務理事の選任について

#### 令和元年度 第1回理事会

(令和元年6月4日 場所 ニューオータニイン札幌)

議題1 平成30年度 事業報告書及び決算報告書(案)について

議題2 任期満了に伴う理事の選任について

議題3 評議員会の開催について

#### 令和元年度 第1回評議員会

(令和元年6月24日 場所 ニューオータニイン札幌)

議題1 平成30年度 事業報告書及び決算報告書(案)について

議題2 任期満了に伴う理事の選任について

#### 理事会

(令和元年6月24日 書面決議)

議題1 理事長及び専務理事の選任について

#### 令和元年度 第2回理事会

(令和2年3月23日 場所 ニューオータニイン札幌)

議題1 令和2年度 事業計画書及び収支予算書(案)について

議題2 評議員会の開催について

#### 評議員会

(令和2年3月23日 書面決議)

議題1 理事の選任について

### 4. その他

令和元年6月25日 北海道へ平成30年度事業報告書及び決算報告書、公益目的支出計画実施報告書提出

一般財団法人 札幌産業流通振興協会

令和元年度 決算報告書

# 貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日 現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	101,117,722	93,815,425	7,302,297
未収金	2,527,624	5,651,751	△ 3,124,127
流動資産合計	103,645,346	99,467,176	4,178,170
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	39,383,882	36,586,841	2,797,041
修繕引当資産	532,409,800	565,543,700	△ 33,133,900
受入敷金引当資産	10,011,600	10,011,600	0
特定資産合計	581,805,282	612,142,141	△ 30,336,859
(3) その他固定資産			
建物	746,267,471	762,426,997	△ 16,159,526
構築物	23,514,500	14,400,455	9,114,045
什器備品	2,977,870	2,041,804	936,066
電話加入権	685,200	685,200	0
その他固定資産合計	773,445,041	779,554,456	△ 6,109,415
固定資産合計	1,405,250,323	1,441,696,597	△ 36,446,274
資産合計	1,508,895,669	1,541,163,773	△ 32,268,104
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28,370,470	50,140,237	△ 21,769,767
前受金	14,489,050	11,716,770	2,772,280
預り金	386,943	385,138	1,805
流動負債合計	43,246,463	62,242,145	△ 18,995,682
2. 固定負債			
退職給付引当金	39,383,882	36,586,841	2,797,041
受入敷金	10,011,600	10,011,600	0
固定負債合計	49,395,482	46,598,441	2,797,041
負債合計	92,641,945	108,840,586	△ 16,198,641
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 50,000,000 )	( 50,000,000 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	( 532,409,800 )	( 565,543,700 )	( △ 33,133,900 )
正味財産合計	1,416,253,724	1,432,323,187	△ 16,069,463
負債及び正味財産合計	1,508,895,669	1,541,163,773	△ 32,268,104

# 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	【 6,002 】	【 15,000 】	【 △ 8,998 】
事業収益	【 228,139,540 】	【 257,063,790 】	【 △ 28,924,250 】
受取負担金	【 12,475,654 】	【 15,335,198 】	【 △ 2,859,544 】
雑収益	【 76,960 】	【 295,836 】	【 △ 218,876 】
経常収益計	240,698,156	272,709,824	△ 32,011,668
(2) 経常費用			
事業費	【 181,328,089 】	【 174,543,587 】	【 6,784,502 】
管理費	【 75,439,530 】	【 70,342,311 】	【 5,097,219 】
経常費用計	256,767,619	244,885,898	11,881,721
当期経常増減額	△ 16,069,463	27,823,926	△ 43,893,389
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引き前当期一般正味財産増減額	△ 16,069,463	27,823,926	△ 43,893,389
当期一般正味財産増減額	△ 16,069,463	27,823,926	△ 43,893,389
一般正味財産期首残高	1,382,323,187	1,354,499,261	27,823,926
一般正味財産期末残高	1,366,253,724	1,382,323,187	△ 16,069,463
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,416,253,724	1,432,323,187	△ 16,069,463

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・・・・・・償却原価法を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物、構築物及び什器備品・・・定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準について

退職給付引当金・・・・・・・・期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜き方法によっている。

### 2. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
定期預金	40,000,000	0	0	40,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	36,586,841	2,797,041	0	39,383,882
修繕引当資産	565,543,700	0	33,133,900	532,409,800
受入敷金引当資産	10,011,600	0	0	10,011,600
小 計	612,142,141	2,797,041	33,133,900	581,805,282
その他固定資産				
建物	762,426,997	19,917,000	36,076,526	746,267,471
構築物	14,400,455	11,438,900	2,324,855	23,514,500
什器備品	2,041,804	1,778,000	841,934	2,977,870
電話加入権	685,200	0	0	685,200
小 計	779,554,456	33,133,900	39,243,315	773,445,041
合 計	1,441,696,597	35,930,941	72,377,215	1,405,250,323



3. 基本財産、特定資産及びその他固定資産の財源等の内訳

基本財産、特定資産及びその他固定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債から の充当額)
基本財産				
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0	0
定期預金	40,000,000	40,000,000	0	0
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	39,383,882	0	0	39,383,882
修繕引当資産	532,409,800	0	532,409,800	0
受入敷金引当資産	10,011,600	0	0	10,011,600
小 計	581,805,282	0	532,409,800	49,395,482
その他固定資産				
建物	746,267,471	0	746,267,471	0
構築物	23,514,500	0	23,514,500	0
什器備品	2,977,870	0	2,977,870	0
電話加入権	685,200	0	685,200	0
小 計	773,445,041	0	773,445,041	0
合 計	1,405,250,323	50,000,000	1,305,854,841	49,395,482

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	3,426,696,515	2,680,429,044	746,267,471
構築物	294,614,169	271,099,669	23,514,500
什器備品	76,631,900	73,654,030	2,977,870
合 計	3,797,942,584	3,025,182,743	772,759,841

## 附属明細書

退職給付引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
退職給付引当金	36,586,841	2,797,041	0	39,383,882

## 財 産 目 録

(令和2年3月31日 現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			
	(1)現金	手元保管	運転資金として	75,426
	(2)普通預金		運転資金として	101,042,296
	未収金	展示場事業収入等		2,527,624
流動資産合計				103,645,346
(固定資産)	基本財産			
	定期預金		基本金として	40,000,000
	投資有価証券		基本金として	10,000,000
基本財産合計				50,000,000
特定資産				
	退職給付引当資産			39,383,882
	修繕引当資産			532,409,800
	受入敷金引当資産			10,011,600
特定資産合計				581,805,282
その他固定資産				
	建物	アクセスサッポロ	施設賃貸事業に使用している。	746,267,471
	構築物	屋外構築物ほか	施設賃貸事業に使用している。	23,514,500
	什器備品	貸出用備品ほか	施設賃貸事業に使用している。	2,977,870
	電話加入権	電話加入権9本	館内使用電話加入権	685,200
その他固定資産合計				773,445,041
固定資産合計				1,405,250,323
資産合計				1,508,895,669
(流動負債)	未払金			28,370,470
	前受金	展示場事業収入等	4月大展示場使用前納分使用料等	14,489,050
	預り金	職員に対するもの	源泉所得税、社会保険料等の預り金	386,943
流動負債合計				43,246,463
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職金の支払いに備えたもの	39,383,882
	受入敷金	白石観光	テナント敷金	10,011,600
固定負債合計				49,395,482
負債合計				92,641,945
正味財産				1,416,253,724